



害

【なりたち】 旧字体は害。棒に刻み目をつけ、傷つける意味の丰と、家の意味の山(うかん)よりも、口との会意形声字。家中で、悪口を言つて人を傷つけること。**そこなう**

▼災害。災害:台風・地震・戦争・事じ故などの災い。

▼攻めにくい所。①地勢が険しくて攻めにくい所。②とりで。

害割



害

【なりたち】 傷つける意味の害と、刀の意味のリ(りつとう)との会意形声字。刀で切りさくことを表した字。**わる・われる**こと。また、分數の単位の名(十分の一)。

▼妨害。妨害:妨碍になるもの。「障」も妨碍の意味。**例**障害物競争

▼妨碍する。①交通妨害

10画	ハ	害	おん	ガイ
4年	ハ	中 害 害	ながく	
11画	ハ	中 害 害 害	はねる	
12画	ハ	中 害 害 害	おん	カツ
6年	ハ	中 害 害 害	はねる	

12画	ハ	害	おん	カツ
6年	ハ	中 害 害 害	はねる	
11画	ハ	中 害 害 害	おん	シユク
3年	ハ	宿 宿 宿 宿	とめる	



棺

【なりたち】 官は垣で囲つた家という意味の字である。囲う意味の官と、木との会意形声字。死体を木で囲う「棺(ひつ)」を表した字。**棺桶(ひつ)**の二と。

▼納棺(ながん)死体を棺に納めること。
入棺(いりがん)棺と同じ意味。
出棺(しゆがん)式のとき棺を家から中から出土したもの。

▼石棺(せきがん)石で作った棺。古墳の送り出すこと。
石棺(せきがん)棺を家から中から出土したもの。

棺

【はねる】

いみとじゅく一



宿

【なりたち】 凤(凰)の古体字。ハと、家の意味の山(うかん)と、会意形声字。ハは、人が布団に寝た形の内と、起きた形のイ(にんべん)との会意字で、「寝て起きる」ことを表した字。**泊まる宿**の意味。

▼宿(しゆく)やどりやどる。
やどす
宿直(しゆぢゆく)官庁・会社・学校などで、そこに勤務する人が交替で泊まつて当直をすること。

宿

おん
シユク

いみとじゅく二

宿泊(しゆ泊)泊まる。宿をとること。
宿泊(しゆ泊)泊まりがけて集中的に行うこと。**例**強化合宿
宿直(しゆぢゆく)官庁・会社・学校などで、そこに勤務する人が交替で泊まつて当直をすること。
宿直(しゆぢゆく)宿直:官吏・公事・学生などで、そこに勤務する人が交替で泊まつて当直をすること。
宿泊(しゆ泊)泊:泊まること。宿をとること。
宿泊(しゆ泊)宿泊:宿屋。
宿泊(しゆ泊)宿業(しゆぎょう):前世での行為。(その結果が現世での報いとして現れる)前世の。
宿泊(しゆ泊)宿望(しゆぼう):長い間持ち続けて来た宿舎(しゆしゃ)の意味。
宿泊(しゆ泊)宿前(しゆぜん):前世の。
宿泊(しゆ泊)宿の(しゆの):おもてなしの意味。